

地域交通情報プラットフォームによる地域交通の最適化実証事業【シェアリングエコノミー】

提案者	石巻コミュニティ交通コンソーシアム（代表団体：株式会社エヌ・ティ・ティ・データ東北） 石巻市、株式会社CDS経営戦略研究所、一般社団法人日本カーシェアリング協会、ヤマト・スタッフ・サプライ株式会社
対象分野	シェアリングエコノミー、地域ビジネス、都市
実施地域	宮城県石巻市（北上地区／雄勝地区）
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域交通情報プラットフォームを活用して住民バスとカーシェアリングをマッチング・乗継支援を行うことにより、地域住民の地域交通に関する利便性向上を図る ▶ また、住民バスの移動情報と乗車状況に応じて配送事業者と住民バスをマッチングし客貨を混載した運行を行うことで、荷物の輸送効率を向上させると共に住民バスの運賃収入を向上させる
主なルール整備等	▶ 地域交通情報プラットフォームにおいて個人情報を取り扱う為のガイドライン等

問題点

問題解決への取組(実証事業の概要)

得られた成果(KPI)

住民移動手段の確保

地域間を結ぶ住民バスの本数が少なく、かつ、バス停から目的地までの交通手段の確保が困難

荷物配達手段の確保

積載率の低いトラックが一日に長距離輸送を数回行うことで事業採算性の確保が厳しく、かつ、トラックドライバーの人手不足から住民への荷物配達手段の確保が困難



住民移動手段の確保

住民ひとりあたりが利用可能なバス路線の本数を50%引き上げると共に地域交通に関する住民満足度を30%向上

荷物配達手段の確保

配送事業者の輸送距離を35%削減すると共に、不在の場合の再配達に要する時間を29%削減

地域交通情報プラットフォーム(PF)【石巻市】

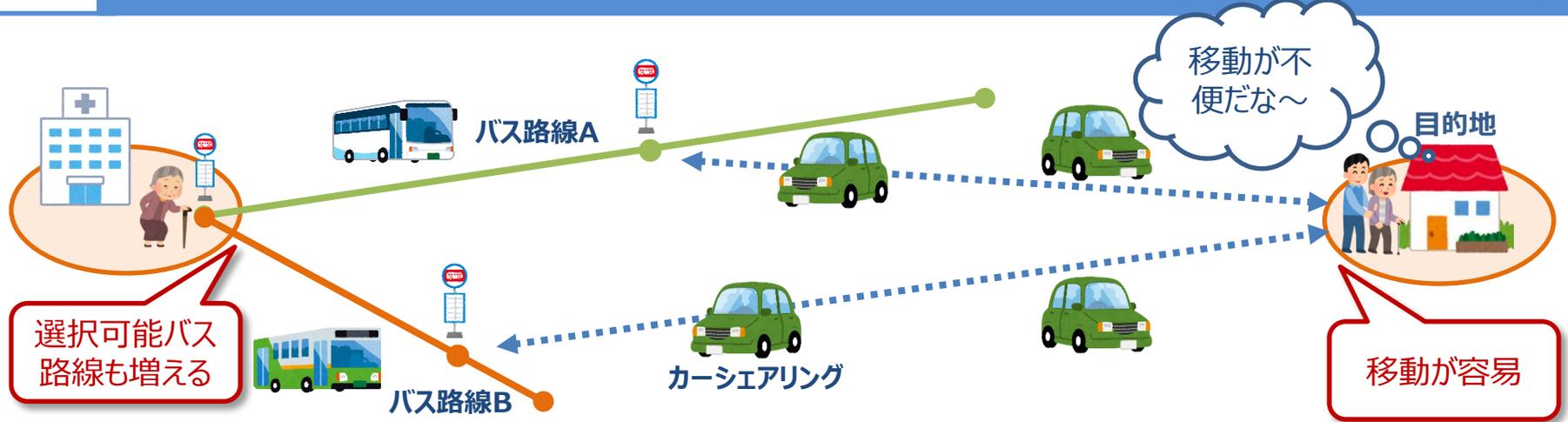


2. 地域課題

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ東北

地域交通情報プラットフォームによる地域交通の最適化実証事業【シェアリングエコノミー】

課題1 住民移動手段の確保 (住民バスとカーシェアリングのマッチングによる移動手段の確保)

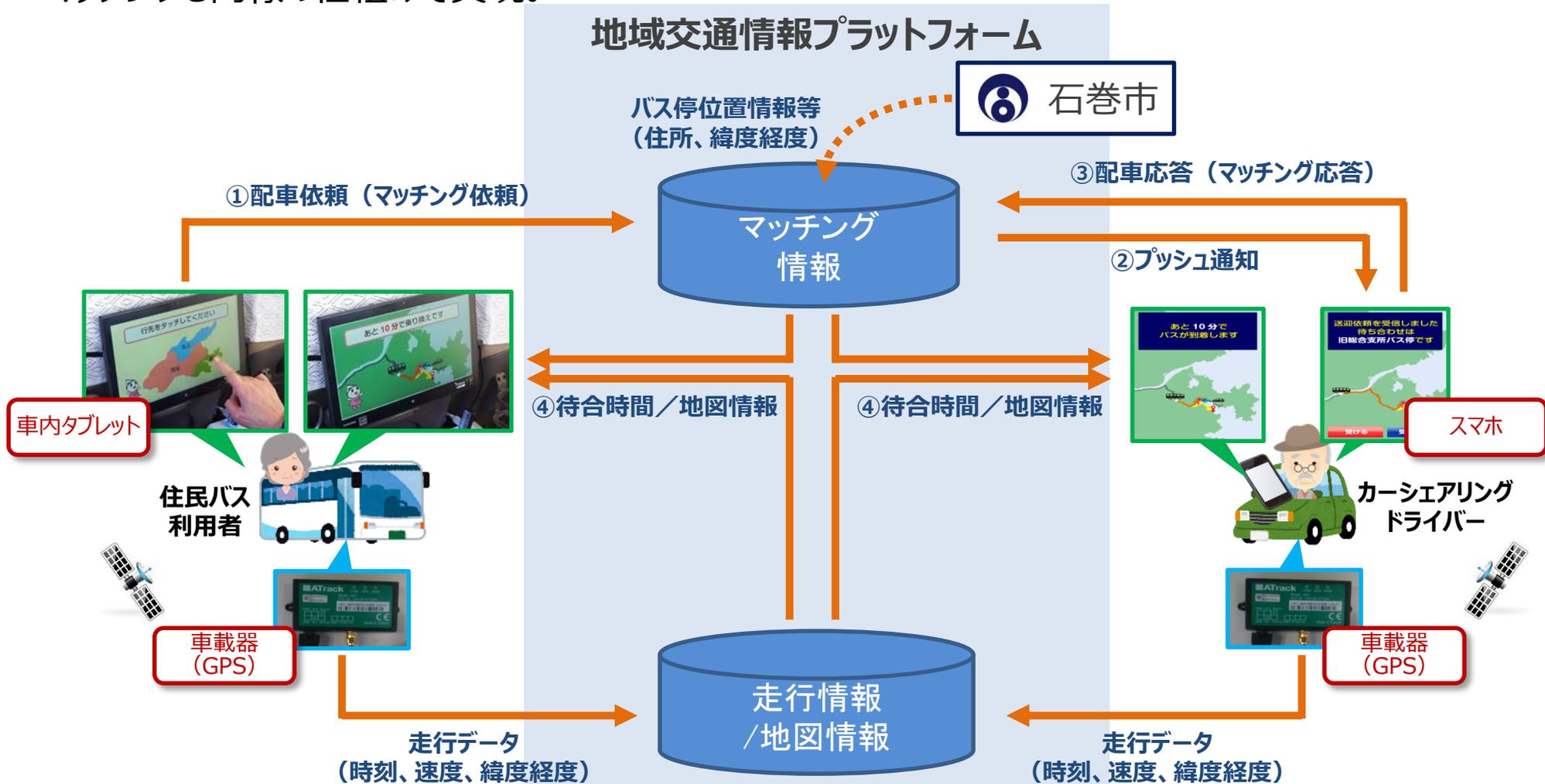


課題2 荷物配達手段の確保 (住民バスと配送トラックのマッチングによる住民サービス向上)



地域交通情報プラットフォームによる地域交通の最適化実証事業【シェアリングエコノミー】

住民バスの利用者とカーシェアリングドライバーのマッチングを行い、マッチング成立後は合流地点への到着時間や地図情報を提供し、待合せを支援するIoTサービスを構築。配送トラックと住民バスのマッチングも同様の仕組みで実現。



4. 実証内容及び成果 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ東北 地域交通情報プラットフォームによる地域交通の最適化実証事業【シェアリングエコノミー】

実証1 住民移動手段の確保 (住民バスとカーシェアリングのマッチングによる移動手段の確保)

- 実施日 : 平成30年2月17日 (土)
- 場所 : 宮城県石巻市 雄勝地区
- 実証内容 : 車載器 (GPS) から収集した走行データを用いて住民バスの利用者とカーシェアリングの待合支援に活用
- 実証方法 : モニタリング
- 成果 : モニタへのヒアリング調査結果 → **住民満足度30%向上**
(住民が利用可能なバス路線数 : 50%向上 / オープンデータ化 : 4個)



実証2 荷物配達手段の確保 (住民バスと配送トラックのマッチングによる住民サービス向上)

- 実施日 : 平成30年1月9日～2月末
- 場所 : 宮城県石巻市 北上地区
- 実証内容 : 車載器 (GPS) から収集した走行データを用いて配送トラックと住民バスの待合支援に活用
- 実証方法 : 実業務を介しての実証実験
- 成果 : 配送事業者ドライバーの走行距離 → **35%削減**
再配達時間 → **29%削減**
(住民バスの運賃収入 : 67%向上 / 地域雇用による労働時間 : 6.7時間以上)



今回の実証結果から、IoTを活用し、住民バスやカーシェアリング等の複数の交通モードを連携させることで、石巻市中心街（都市部）と地域コミュニティ（過疎地域）間の住民移動ニーズが解決されると期待できる。



今後の展開

- カーシェアリングの事業拡大による住民バス以外の交通モードとの連携
- 客貨混載事業の他地区への拡大
- オンデマンド型の客貨混載事業への取り組み